

令和5年度 スタディー・アブロード（海外教育交流協定校・大学）の実施について

海外留学の現状

令和5年度は、コロナウイルス感染拡大以前の状態にほぼ戻り、海外教育交流協定校・大学と連絡・調整を取りつつ、計15名の学生達を海外に派遣しました。海外教育交流協定校・大学の中でも、米国カリフォルニア州立大学サンマルコス校とECロスアンジェルス校には、初めて学生を派遣しました。語学学校のECは、世界各地にキャンパスがあり、学生の希望を尊重しつつ、米国並びにカナダに複数所在するEC校に学生を派遣しています。

また、教育交流協定校が実施するオンラインプログラムは、その有用性があるため、引き続き活用することとしました。

令和6年度には、米国、カナダ、オーストラリア、フランス、オランダ、韓国ほかに、約20名の学生を派遣すべく準備中です。

学生番号	国名	留学先機関名	留学期間
C122020	米国	フィンドレー大学	2023年8月6日～12月10日
C122023	米国	フィンドレー大学	2023年8月6日～12月10日
C121016	カナダ	オカナガンカレッジ	2023年8月29日～12月21日
C121024	カナダ	オカナガンカレッジ	2023年8月29日～12月21日
C122018	フランス	EMBA ビジネススクール	2023年8月27日～12月18日
C121010	フランス	EMBA ビジネススクール	2023年8月27日～12月18日
C121009	韓国	釜山外国語大学校	2023年8月30日～12月24日
C122012	韓国	釜山外国語大学校	2023年9月1日～12月22日
C122006	オーストラリア	Brown English School	2023年9月1日～10月4日
C121005	オーストラリア	Brown English School	2023年8月18日～10月2日
C121004	マルタ共和国	EC マルタ	2023年8月19日～10月2日
C121015	ドイツ	F+U ランゲージアカデミー	2023年8月27日～10月7日
C120033	米国	UC サンマルコス校	2023年8月23日～10月1日
C122011	カナダ	オカナガンカレッジ	2024年1月2日～4月30日
C122024	米国	EC ロスアンジェルス	2024年2月17日～3月31日

スタディー・アブロード 留学報告書

学年 2 学生 ID C122020 名前：

スタディー・アブロード	I · II · III · IV
国（都市）	アメリカ合衆国（オハイオ州フィンドリー）
大学・機関名	フィンドリー大学
経 費	交換留学 · 自費留学 : 奨学金受給（あり） · なし）
経費概算	旅費（30万円） 学費（0円） 生活費（70万円）
留学期間	2023年8月6日～2023年12月10日（1学期間）

1. テーマ

「成長」 留学という初めての経験からいろいろなことを学んで成長する！

2. 目標

外国人と英語でスラスラと会話できるようになりたい。帰国後に TOEIC600 点以上取得を目指す。バスケの試合を観に行きたい。できればテニスの試合も観に行きたい。アメリカの図書館で勉強したい。（アメリカの学生と同じ空間で勉強したい。）アメリカのトレーニングジムに行ってみよう。

3. 成果（それぞれの目標に対して）

留学中、積極的にいろいろな人と話をするよう努めた結果、自分の英語に自信が持てるようになった。授業予習、復習をできるだけおこない、毎授業真面目に取り組んだ結果、TOEIC のスコア目標の600点をクリアすることができた。大学の図書館で、アメリカ人学生達と机を並べて勉強した。大学のジムを利用したり、ボランティア活動にも積極的に参加することによって、いろいろな出会いや、大きな学びがあった。フィンドレー大学の先生からいろいろなアドバイスをいただき、自分の将来についても少し具体的に考えられるようになってきた。

4. 留学を通して学んだこと

「英語を話すことで、世界が広がること」

フィンドレー大学で英語を使って初めて会う国の人たちと話し、友達になったことで、英語によって自分の世界が広がっていくことを実感できた。

「アメリカ人大学生達の勉学に対する熱意。」

アメリカの学生達が、公共スペースで長時間勉強している様子を見て、勉学に対する熱意を彼らから感じる事ができた。彼らは平日は授業を受けるか、公共スペースですずっと勉強しており、大変よい刺激を受けた。

「アメリカの広さ。」

アメリカの老人ホームに行ったとき、建物自体はもちろん敷地もとんでもない広さで、とても驚いた。国土が広いとスペースの使い方が日本とは全然違うなと思った。

「インド人の多さと、いろいろな人種の人々が暮らしている国で聞こえてくる英語の特徴。」

フィンドレー大学には、多くのインド人留学生がおり、インド人の人口が増えていることを感じた。また、キャンパス内を歩いていると、インド訛りの英語が聞こえてきたり、トルコやスペインなど、いろいろな訛りの英語が聞こえてきた。このことから、多種多様な人種が暮らしているアメリカという国の日常を感じる事ができた。

5. 今後の課題・目標

アメリカの学生から得た勉学への熱意を絶やすことなく、勉学に励んでいきたいと思っている。留学の目標の一つであったTOEICスコアは達成できたが、向上心を持ち続け、700点、800点と上を目指してスコアを伸ばしていきたい。